

使いやすいリニューアル  
「たかさきしサポートファイル」  


たかさきしサポートファイルは、お子さんの成長の様子や配慮が必要なことをシートに記入したり、書類などをまとめてファイリングしたりすることで、よりよい成長のために役立つ支援ツールです。

集めた情報を医療・保健・福祉・教育・就労等のお子さんにかかわるさまざまな機関が共有することで、保護者の説明の負担を軽くするとともに、必要な支援が生涯にわたって継続して受けられるようにすることを目的としています。

**書く!**

- 生活場面でのお子さんの様子を、保護者が記入しましょう。
- わからないことは身近な支援者に相談しながら一緒に作成しましょう。
- 誕生日や進級時など、お子さんの成長に合わせて、いつでも記入していただけます（用紙は、こども発達支援センターでお渡しする他、ホームページからダウンロードできます）。

**ためる!**

- 過去の記録も成長の足あととして、保存しておきましょう。
- 発達検査の結果や障害福祉サービスの利用計画書、個別の指導計画など、お子さんの成長発達に関するさまざまな記録を綴っていきましょう。

**伝える!**

- 病院や保育所(園)・幼稚園・こども園、学校、障害福祉サービス事業所など、お子さんをサポートする人々に、日常の様子や、どのような配慮があればよいのか、どのような相談機関や支援機関に通っているかなど、サポートファイル使って伝えましょう。
- 入園、入学・進学、就労など、新しいステージに進むときにも、これまでの成長や支援の内容などを伝えましょう。

周りの人たちにお子さんを理解してもらうことや  
必要な支援を一貫して受けることにより  
安心して楽しい生活が送れるよう応援します

\*詳しくは次ページをご覧ください

発達障害啓発週間 in たかさき  
～地域で広げよう!発達障害の理解と支援～

児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、相談支援事業所、協力団体のパンフレット等の掲示や新サポートファイルの展示等を行います。



○期 間:令和3年3月27日(土)  
～4月4日(日)

○場 所:高崎市役所 1Fロビー



**おすすめの  
一冊**

**どんなかんじかなあ**


中山千夏 ぶん  
和田誠 え  
自由国民社 発行

主人公のひろくんは、友だちの気持ちを理解するために、友だちと同じ状況になって考えてみます。

「目をつぶってみるといろいろな音が聞こえてきて、目が見えないってすごい。耳をふさぐとたくさんのものが見えて、聞こえないってすごい。」

できないことではなく、できることに目を向けるひろくんに、前向きに生きることや相手を思いやる気持ちの大切さを気づかされます。


読み終わったあとに、たくさんのかんじを考えた絵本です。



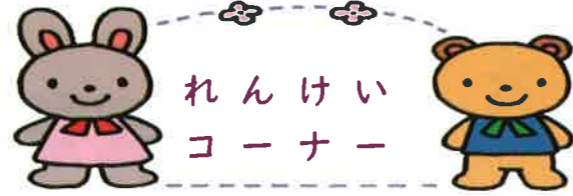
高崎市こども発達支援センター  
〒370-8501  
高崎市高松町35-1(高崎市役所17階)  
TEL (027) 321-1351(直通)  
FAX (027) 326-9180  
E-Mail: kodomo-hattatsu@city.takasaki.gunma.jp

**\*編集後記**

当センターは平成23年に開設し、10年目を迎えました。今年度は、研修会やペアトレなど、一部の事業を中止したり、来所相談のみなさまにも検温や健康チェック、消毒などにご協力いただいたりと、いつもと違った一年でした。不安を感じる今の状況だからこそ、子どもたちや保護者のみなさまが安心して楽しく生活できますよう、今後はホームページを活用し、役立つ情報を発信していきたいと考えています。



# 高崎市小児科医会



子どもたちが、毎日自分らしくいきいきと  
過ごせるよう、地域で取り組む支援機関を  
シリーズで紹介します。



高崎市小児科医会  
第一病院小児科 新井弥生先生



その時間と空間のなかで、ひとりひとりのお子さんの「ありのまま」を、ご家族の方と関わる全てのスタッフが受けとめていきます。



こんにちは！  
こども発達支援センターの医師相談を担当しています高崎市小児科医会の新井弥生です。この場をお借りして、センターでの実際の相談の様子や、地域の小児科医の想いなどを紹介させていただきます。  
相談の場では、お子さん・ご家族と直接お会いして、お子さんの生活の中での様子、今までの健康状態や成長発達過程、対応に戸惑っていることなど、お話をゆっくり伺います。また相談にいられたお子さんにとって安心して楽しい時間になるように、スタッフの方々が環境を整え、お子さんの興味を引き出しながら、丁寧にかかわりながら遊びます。  
その時間と空間のなかで、ひとりひとりのお子さんの「ありのまま」を、ご家族の方と関わる全てのスタッフが受けとめていきます。



地域の小児科医と高崎市こども発達支援センターは、連携して、子どもたちの安心と笑顔を支えます

そして、「その子らしく成長できるように」、いま、どのようなサポートが適切であるかを一緒に考えながら、対応方法のご提案をさせていただいたり、各医療機関との橋渡しを致します。  
地域の小児科医は、お子さんが元気にその子らしく成長できることを願っており、成長発達をサポートすることも重要な役割と考えています。風邪など体調不良のときはもちろんですが、日々の生活のなかで気がかりなことがあれば、遠慮せずに何でもお気軽にご相談いただきたいと思います。必要に応じてこども発達支援センターにご紹介させていただくこともあります。また、こども発達支援センターと高崎市小児科医会は定期的に交流をしていますが、今後もより一層連携して、子どもたちの安心と笑顔を支えられるよう活動していきたいと考えています。



## サポートファイル Q&A

Q 誰が書くものですか？

- \*「サポートファイル」は保護者が記入し、保管していただくものです。
- \*受診や相談の時など、わからないことは、身近な支援者と相談しながら記入してもよいでしょう。
- \*学校や相談機関・医療機関などでもらった書類なども、順に綴じていきましょう。

Q いつ書いたらよいですか？

- \*「生活の様子」のシートは、お子さんの誕生日や進級時などの毎年決まった日に、新しいことができるようになった時や生活に変化があった時に、いつでも記入していただけます。チェック方式で記入が簡単です。
- \*「相談等の記録」シートは、保護者が相談後に記入するか、相談先で確認しながら支援者と一緒に記入してもよいでしょう。

Q いつ、どこでもらえますか？

- \*高崎市こども発達支援センターでお渡ししています。ホームページからもシートのダウンロードが可能です。お子さんの成長に合わせて増やしてください。
- \*当センターに来所相談されていない場合でも、シートをダウンロードしてご利用ください。



Q 使うことでどのようなメリットがありますか？

- \*病院や保育所(園)・幼稚園・こども園、学校、障害福祉サービス事業所など、お子さんをサポートする人々に、日常の様子や、どのような配慮があればいいのか、どのような相談機関や支援機関に通っているかなどを伝えることで、一貫したサポート体制がつくれます。
- \*入園、入学・進学、就労など、新しいステージに進むときにも、これまでの成長や支援の内容などを伝えることで、必要な支援を継続して受けられます。
- \*説明の負担を軽くするとともに、伝え忘れをなくします。
- \*お子さんの成長をファイルにまとめていくことで、できるようになったことが確認できたり、子育ての工夫を考えるヒントになったり、安心して子育てすることにつながります。

Q どのような場合に使うのですか？

- 「サポートファイル」はお子さんに関する情報を引き継いでいくための支援ツール(道具)です。以下のような場合に使います。
- \*保育所(園)・幼稚園・こども園、小中学校への入学・進学、就労など、かかわる人が変わるとき
- \*相談機関や医療機関、障害福祉サービスを利用するとき
- \*災害時、避難所を利用するときなど

Q 使用上のポイントや注意点は？

- \*支援が必要なことだけでなく、得意なこと、興味のあることなど、お子さんについてみんなにわかってもらえるようなファイルになるとよいでしょう。
- \*ファイルの内容は大変重要な個人情報です。大切に取り扱いましょう。